

## ドルマネーファンド

追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用

### 月次運用レポート

2010年3月

#### 商品の特色(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

米国短期金融マーケットへの投資を通して、利子等収益の確保と円安・米ドル高時の為替益の享受により、好リターンの獲得をめざします。

・主に信用度の高い米ドル建ての短期国債、政府機関債、コマーシャル・ペーパー(CP)および譲渡性預金証書(CD)に投資するほか、流動性確保の観点から、資産の一定割合を外貨預金で保有します。

・当初の発行が中長期債ながら、残存期間が短くなった債券を組入れる場合があります。

当ファンドにおける主なリスクおよびそれに対する運用方法

**為替リスク**・・・円対米ドルの為替相場の変動リスク

外貨建資産への為替ヘッジは行いません。

**金利リスク**・・・金利変動により債券価格が変動するリスク

・主に残存期間の短い債券等を組入れることにより、金利変動による債券価格の変動リスクを軽減します。

・ポートフォリオ・デュレーションを6ヶ月以内と比較的短めにします。

デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を意味するもので、債券デュレーションが長いほど金利変動に対する価格感応度が高くなります。このため、債券投資におけるリスク尺度として使用されています。

**信用リスク**・・・有価証券の発行体が債務不履行になるリスク

投資対象有価証券・金融商品は、国債・政府機関債のほか、取得時においてムーディーズ社より「Prime-1」もしくは「Aa1」、スタンダード・アンド・プアーズ社より「A-1」もしくは「AAA」以上に格付けされた最上級の信用度を有するもの限定して投資することにより、信用リスクを軽減します。(なお、取得後において格下げがあった場合でも、原則として保有を継続いたします。)

お申込時にお申込手数料がかからないノーロードタイプです。

収益分配金は

毎決算時(毎年3月、6月、9月および12月の10日、休業日の場合には翌営業日。)に原則として、利子・配当等収益および有価証券の売買益(評価益を含みます。)等を分配します。

分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

#### 主なリスクと費用(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。

その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

為替リスク.....	当ファンドは、組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
金利リスク.....	一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。当ファンドは、債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。
信用リスク.....	投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料は7枚ものです。P.6の「本資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

**ドルマネーファンド**  
追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用  
月次運用レポート（2010年3月）

**基準価額の推移（税引前分配金再投資）**



基準価額は、税引前の分配金を再投資したもとして計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  

$$\text{分配金再投資後基準価額} = \text{前日分配金再投資後基準価額} \times (\text{当日基準価額} \div \text{前日基準価額})$$
 （決算日の当日基準価額は税引前分配金込み）  
 基準価額は信託報酬控除後です。尚、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 （設定日：1998年6月19日）

**基準価額・純資産総額**

基準価額	6,326 円
解約価額	6,326 円
純資産総額	5,145 百万円

**ポートフォリオ構成（単位：％）**

資産の内容	比率
ドル建て債券	62.2
ドル預金等	38.0
円コール、その他	-0.2
合計	100.0

1 設定解約とドルの送金とのタイミングのずれにより、円資産がマイナスとなる場合があります。  
 2 比率は純資産総額比

**騰落率（税引前分配金再投資）**

	1ヵ月 (2010/01/29)	3ヵ月 (2009/11/30)	6ヵ月 (2009/08/31)	1年 (2009/02/27)	2年 (2008/02/29)	3年 (2007/02/28)
当ファンド	-0.44%	2.81%	-3.91%	-9.02%	-13.98%	-20.35%

当ファンド騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

**残存年別配分**

残存年数	評価額	当ファンド
1年未満（現金等含）	5,145 百万円	100.00%
1年以上3年未満	0 百万円	0.00%
3年以上7年未満	0 百万円	0.00%
7年以上10年未満	0 百万円	0.00%
10年以上	0 百万円	0.00%

比率は純資産総額比

**分配金情報（税引前）**

分配金情報（税引前）		直近3年分
第35期	(2007.03.12)	80 円
第36期	(2007.06.11)	80 円
第37期	(2007.09.10)	80 円
第38期	(2007.12.10)	80 円
第39期	(2008.03.10)	80 円
第40期	(2008.06.10)	80 円
第41期	(2008.09.10)	20 円
第42期	(2008.12.10)	20 円
第43期	(2009.03.10)	10 円
第44期	(2009.06.10)	10 円
第45期	(2009.09.10)	10 円
第46期	(2009.12.10)	10 円
累計分配金		2,430 円

1 分配金は1万円当たり  
 2 分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

**ドルマネーファンド**  
 追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用  
 月次運用レポート（2010年3月）

**通貨別債券配分**

通貨名		通貨別組入状況		
		組入債券	為替予約 ・先物	計
北米	USドル	62.16%	0.00%	62.16%
現金等		37.84%	-	37.84%
合計		100.00%	-	100.00%

**債券ポートフォリオの状況**

	当ファンド
平均複利回り	0.17%
平均クーポン	0.00%
平均残存期間	0.46
修正デュレーション	0.46

- 1 比率は純資産総額比  
 2 現金等は、ドル預金、円コール等です。

比率は債券時価総額比

**組入銘柄一覧表**

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T BILL 05/06/10	米ドル	37.88	0.19
2	US T BILL 01/13/11	米ドル	24.28	0.88

比率は純資産総額比

(組入銘柄数：2銘柄)

FNMA	連邦抵当金庫債(利付債)	IBRD	世界銀行債
FNMA DN	連邦抵当金庫債(割引債)	EIB	欧州投資銀行債
FHLMC	連邦住宅抵当貸付銀行債(利付債)	IADB	米州開発銀行債
FHLMC DN	連邦住宅抵当貸付銀行債(割引債)	US T-BILL	米国財務省証券
FHLB	連邦住宅貸付銀行債(利付債)	US T N/B	米国財務省証券
FHLB DN	連邦住宅貸付銀行債(割引債)		
FFCB	連邦農業信用銀行債(利付債)		
FFCB DN	連邦農業信用銀行債(割引債)		

当資料は7枚ものです。  
 P.6の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント



**ドルマネーファンド****追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用  
月次運用レポート（2010年3月）****2月のマーケット動向と当ファンドの動き**

為替市場では、ドル/円相場はギリシャの財政問題や中国での預金準備率の引き上げなどを材料にレンジ内で上下しましたが、月を通して見ると小幅な円高ドル安となりました。前半は米国での良好な経済指標や公定歩合の引き上げ、ギリシャへの支援期待などを受けドル/円相場は1ドル=91円台後半にまで上昇しました。その後はギリシャの財政問題に伴う格下げ懸念が高まったことや、米国の消費者信頼感指数などのマクロ指標が予想を下回る結果であったことなどから円を買い戻す動きが進み、月末には前月末と同水準の1ドル=89円台まで下落しました。

引き続き格付機関からトリプルA(AAA)の格付けを取得している極めて信用力の高い米国債の組入れを実施しました。米国債等約62%程度、外貨預金等約38%程度の組入れとしています。

**今後のマーケットの見通しと運用方針**

3月の為替市場は、ドル/円相場はレンジ相場が予想されます。ギリシャなどのユーロ圏でのソブリンリスク(国の信用力に対するリスク)の高まりからユーロが主要通貨に対して軟調な展開が続いています。米ドルや円は投資家のリスク回避時に買われやすい通貨となっており、ユーロなどに比べ方向感が出にくい展開が予想されます。したがって、ドル/円相場については経済指標などを背景とした投資家のリスク志向への変化や米国での金融緩和政策の出口戦略などを材料に暫くはレンジでの推移が続くとみられます。

3月のドル/円相場は1ドル=88~92円程度の展開を予想します。  
債券の組入れに関しては、引き続き米国債を中心とした運用を実施していく方針です。

**ドルマネーファンド**  
**追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用**  
**月次運用レポート（2010年3月）**

**お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）**

お申込み	お申込みの受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日に該当する日（以下「海外休業日」といいます。）には受付を行いません。
お申込単位 (当初元本1口=1円)	各販売会社が定める単位 「分配金受取コース」および「分配金再投資コース」によるお申込みが可能です。お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。お申込単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	お申込日の翌営業日の基準価額
ご換金	ご換金の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 海外休業日には受付を行いません。 大口の換金請求に制限を設ける場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、受付を中止することおよび受付を取り消すことがあります。
ご換金単位	各販売会社が定める単位
ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額
ご換金代金受渡日	原則としてご換金申込日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	無期限です。(当初設定日：平成10年6月19日)
繰上償還	受益権口数が10億口を下回った場合等には、償還することがあります。
収益分配	年4回の決算時(原則として毎年3月、6月、9月、12月の10日。休業日の場合には翌営業日。)に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 [分配金受取コース] 原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。 [分配金再投資コース] 税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。 分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

**お客様にご負担いただく費用について（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）**

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なるため、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込時	
お申込手数料	ありません。
ご換金時	
ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率0.9975% (税抜0.95%)を日々ご負担いただきます。
その他の費用等	信託事務の処理に要する費用、監査報酬、有価証券などの売買にかかる手数料、外貨建資産の保管に要する費用などが信託財産から支払われます。なお、受託会社の立て替えた立替金の利息、借入金の利息がかかる場合は、当該費用が信託財産から支払われます。(その他の費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

確定拠出年金制度にかかる取扱いの場合には上記内容と異なる場合があります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**照会先**

- ・委託会社のホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>
- ・委託会社の電話番号 03-3287-3111 受付時間：営業日の午前9時～午後5時

当資料は7枚ものです。  
P.6の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント 

**ドルマネーファンド**  
 追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用  
 月次運用レポート（2010年3月）

**委託会社その他関係法人の概要**

委託会社	DIAMアセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図等を行います。）
受託会社	みずほ信託銀行株式会社 （信託財産の保管・管理業務等を行います。なお、受託会社は信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。）
販売会社	次頁の販売会社一覧をご覧ください。 （募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書（目論見書）・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資、収益分配金・一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。）

**投資信託ご購入の注意**

証券投資信託は、

預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をあらかじめお渡しいたしますので、必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

**本資料のお取扱いについてのご注意**

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をあらかじめお渡しいたしますので必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性等について同社が保証するものではありません。また、掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

本資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金及び手数料は計算に含まれておりません。

本資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

**DIAMアセットマネジメントは  
 リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2009において  
 『最優秀運用会社賞（総合部門）』を受賞しました。**



「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2009」は、世界21都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リッパー独自の投資信託評価システム「リッパー・リーダー・レーティングシステム（リッパー・リーダーズ）」の中の「コンシスタントリターン（収益一貫性）」を用いています。リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

(c) Thomson Reuters 2009. All rights reserved.

**ドルマネーファンド**  
 追加型投信 / 海外 / その他資産（短期金融資産） / 累積投資適用  
 月次運用レポート（2010年3月）

**販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）**

印は協会への加入を意味します。

2010年3月9日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人投資信託協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	備考
株式会社みずほコーポレート銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号					
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号					
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第38号					
株式会社北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第48号					
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号					
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号					
スルガ銀行株式会社	登録金融機関 東海財務局長(登金)第8号					
株式会社泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第12号					
株式会社池田銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号					
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号					
株式会社山口銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第6号					
株式会社伊予銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号					
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第1号					
株式会社鹿児島銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第2号					
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号					
株式会社東和銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第60号					
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号					
株式会社西京銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第7号					
株式会社徳島銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第10号					
第一生命保険相互会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第115号					
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号					
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号					
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号					1
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号					1
株式会社青森銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第1号					1
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号					1
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号					1
日本アジア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第134号					1

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱い及び販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は7枚ものです。

P.6の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

**DIAM**アセットマネジメント

